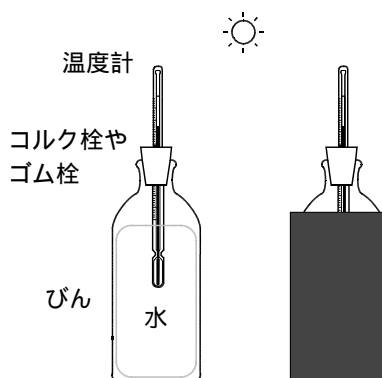


3年	太陽熱温水器のひみつを探ろう
	太陽熱を使って水を温める実験 発展

日光が当たったときの物のあたたまり方を調べます。右のような空きびん実験器を使って、どんな方法を使うと水があたたまりやすいかいろいろやってみましょう。ここでも「比べる」ことが大切です。実験器は2つ以上用意して、同じ場所で、同じ時間日光に当てます。実用の太陽熱温水器ができるといいですね。



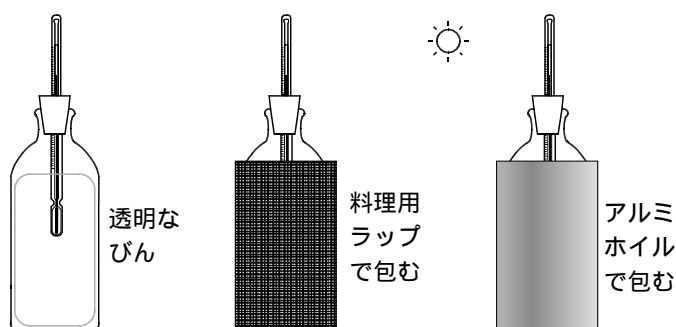
1 準備

- ・空きびん（同じ種類のものを2本）
色による違いを調べるのでできれば透明なものがよい。
- ・温度計 ・コルク栓かゴム栓（びんの口に合う物）

・中には水を同じ量入れる。

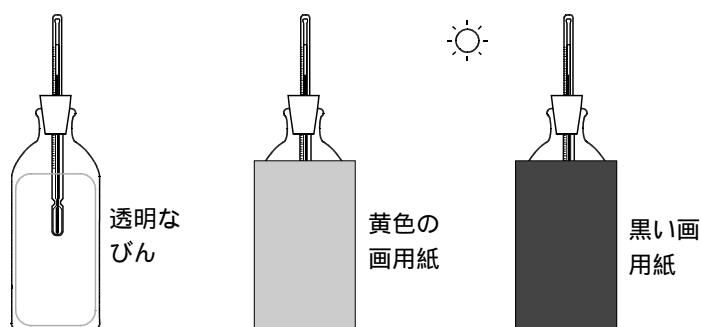
2 透明な物と反射する物

びんを料理用ラップ（日光を透過するもの）とアルミホイル（日光を反射する物）で包み、それぞれ何もしていないびんと同時に日光に当て、水のあたたまり方を温度計で比べる。



3 色による違いを調べる

色の違う画用紙を用意し、びんを包み、色による違いを比べる。



4 実験のヒント

ほかにも、びんの中の水の温度を上げる方法を考え、実際に確かめてみましょう。

